

# 令和6年度 新たな地域クラブ 実証事業報告

登壇者

埼玉アザレア 関根 弘倫

令和7年1月30日（木）

場所：鴻巣市文化センター





SAITAMA  
AZALEA

# クラブ母体情報

## ○ クラブの歴史

スポーツの楽しさを知ってもらい、バレーボールの普及・振興、スポーツをする機会の提供、青少年の健全な育成、地域の活性化や健康の増進、生涯スポーツの推進に寄与することを目的とし、2009年にNPO法人アザレア・バレーボール振興会として発足する。

## ○ 年表

- 2009年 NPO法人 発足
- 2014年 V・チャレンジリーグ 参戦
- 2017年 埼玉アザレアアカデミー中学生発足
- 2018年 V.LEAGUE DIVISION2 参戦
- 2020年 埼玉アザレアアカデミー(小学生)発足
- 2022年 埼玉アザレアクラブ(中学生)発足
- 2024年 新Vリーグ 参戦
- 2024年 国民スポーツ大会 優勝





○新V.LEAGUE大会方式など

- レギュラーラウンド：10月中旬～3月頃 → プレーオフ：3月頃～4月を想定
- 東西カンファレンス制 ホーム&アウェー
- 週末（土日）を基本とした2試合同一カードの対戦
- 東西カンファレンス上位クラブによるトーナメント
- ホーム&アウェー 充実した試合数を設定

●**U15ユースクラブの保有**



# V.LEAGUE REBORN

# U15ユースチーム保有と新たな地域クラブ



## U15ユースクラブの保有

2022年

狭山市にて男子の地域バレーボールクラブを結成

狭山市・入間市・日高市・飯能市の近隣4市で、男子バレーボール部が1校もないという環境を改善するため立ち上げ、子どもたちにバレーボールができる環境作りを実現することができました。学校総合体育大会や新人戦、協会長杯といった大会にも出場しております。



## 新たな地域クラブ

2024年

さいたま市にて立ち上げ決定

さいたま市の男子バレーボール部の顧問の先生方と話し合いもさせていただき、部活動の地域移行と子どもたちの環境作り、専門知識を持つ指導者確保の観点から新たに立ち上げることに決めました。

# なぜバレーボールの普及を進めるのか

## 社会貢献事業を進める埼玉アザレアのミッション

部活動は学校教育の一環、人間教育の場としてこれまで発展をしていきました。しかし、教員の働き方改革が叫ばれる現代において、これからは“クラブ化”が進んでいくのではないかと考えております。これからの未来を担う子供たちがバレーボールをする環境を整えつつ、バレーボールという競技がさらに活気付くような方策を考えています。

クラブを発展させつつ、弊クラブでは人間教育の場であるということをお忘れずに、これからも変わらぬ部活動のあり方を尊重しつつ、バレーボールの裾野を広げていく活動を進めていきます。



# さいたま市



## さいたま市の現状

- ・モデル校の選定
- ・人材派遣業者の入札
- ・学校部活動への派遣

## 埼玉アザレアとして

- ・クラブとして地域クラブを保有
- ・特定の学校以外の子どもたちも受け入れ
- ・地域移行された場合の受け入れ準備



さいたま市の素晴らしい取り組みとともに子どもたちの活動場所を確保していくことが重要

# 取り組み内容

- (1) クラブ名：さいたまアザレアクラブ
- (2) 在籍人数：18名
- (3) 指導者：3名(内プロ指導者1名)
- (4) 活動場所　さいたま市内学校体育館・公共体育館
- (5) 活動目的
  - ①多様な経験の機会  
新たな地域クラブ活動として、既存の部活動に所属している生徒を含め、受け入れしていく。Vリーグの選手を指導者に含め、プロ選手との交流も図る。
  - ②バレーボールの技術向上  
バレーボールを正しく教え、バレーボールを楽しめる技術を子どもたちに教えていきたい。バレーボールを楽しむ前に競技から離れてしまう子どもたちをなくしていきたい。





# スケジュール①

- 7月 第1回検討会議開催  
指導者向け研修・説明会の実施  
関係団体ヒアリング
- 8月 第2回検討会議開催  
指導者向け研修・説明会の実施  
新たな地域クラブ活動開始
- 9月 第3回検討会議開催（中間まとめ・検討事項）
- 10月 Vリーグジュニアスタッフ 試合観戦  
第4回検討会議開催（事業まとめ・検討事項）
- 11月 拠点地域・保護者等アンケートの実施  
地域ミーティング報告資料作成
- 12月 地域ミーティング開催…県主催
- 1月 地域ミーティング開催…県主催  
第5回検討会議開催（成果報告・来年度に向けて）  
事業完了報告書・成果報告書等作成



# スケジュール②実証事業後

- 2月 地域クラブとして登録準備  
金額設定と指導者確保  
平日夜の練習場所確保  
第6回検討会議開催
- 3月 体験会と保護者説明会の実施  
他団体との情報共有会  
部活動顧問の先生と打ち合わせ
- 4月 地域クラブ・ヤングクラブ登録
- 5月 地域クラブ承認・ヤングクラブ登録  
各種大会への登録



# 地域クラブ運営の課題に関して

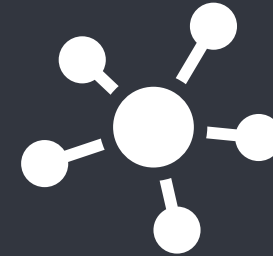


## 協力体制

教職員  
学校  
指導者  
バレーボール連盟 など

## 自走準備

指導者謝礼  
練習場所費用  
消耗品費用  
その他費用



## 連携強化

学校部活動との共存  
指導者との連携  
生徒・保護者への案内  
他関係各所との連携

## スケジュール①

実証事業完了まで

## スケジュール②

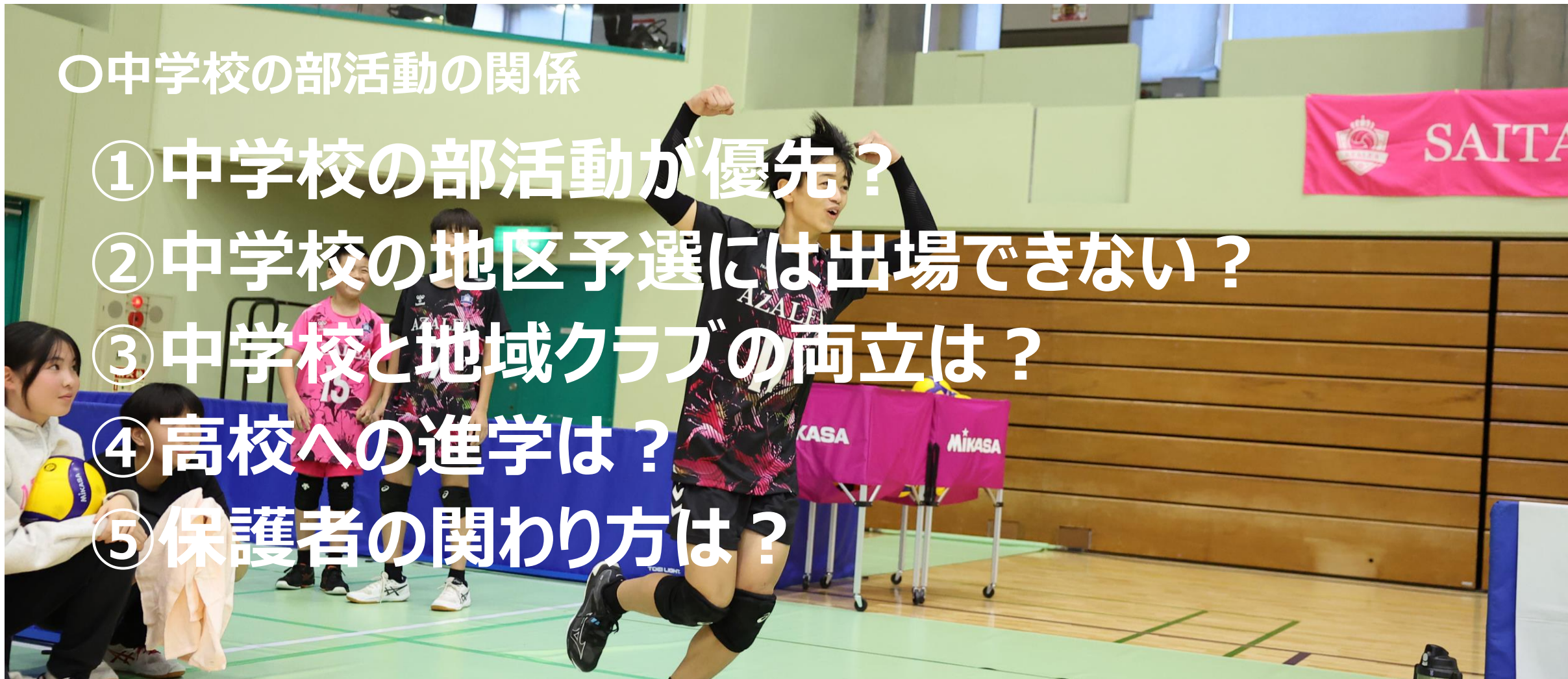
実証事業終了後  
自走していくために

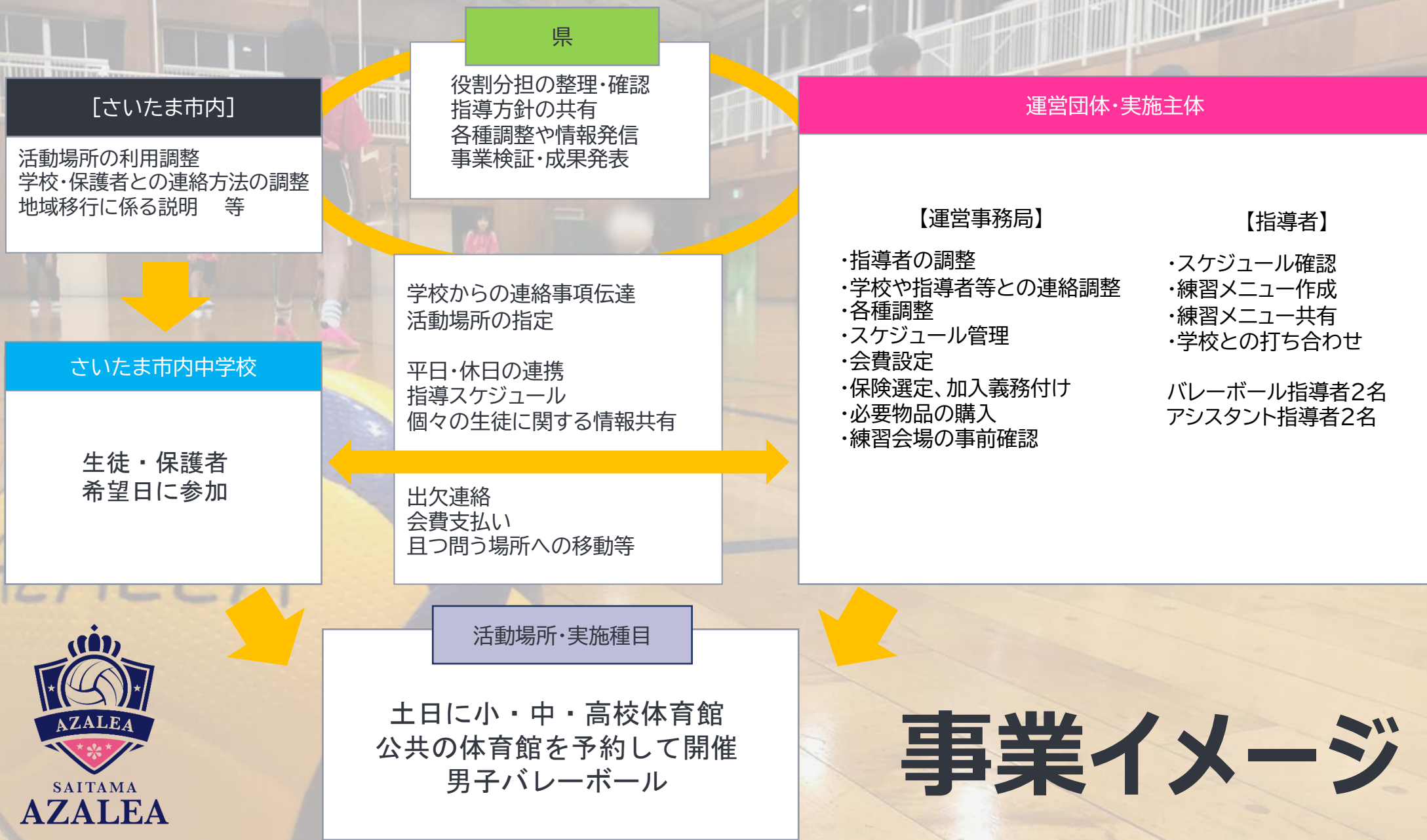


# 具体的な課題～中学校の部活動との関係性～

## ○中学校の部活動の関係

- ① 中学校の部活動が優先？
- ② 中学校の地区予選には出場できない？
- ③ 中学校と地域クラブの両立は？
- ④ 高校への進学は？
- ⑤ 保護者の関わり方は？





# 事業イメージ

ご清聴  
ありがとうございました

NPO法人アザレア・バレーボール振興会  
埼玉アザレア 関根 弘倫  
[azalea.academy2022@gmail.com](mailto:azalea.academy2022@gmail.com)  
<https://www.azalea-volleyball.org>

